

寶相華

巻頭四方山話

会長 瀬川 雅 数
(昭43年卒)



「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくこの世は住みにくい。」夏目漱石が書いた小説「草枕」の冒頭の一節である。今も昔も世の中は住みにくいようだ。住みにくい世の中をさらに苦境に追いやったのがコロナ感染症である。令和二年の第一波から令和三年の第五波まで、感染

者数は増加し続けた。日本では令和三年の終わりまでに日本人口の約一・二%が感染し、感染者の約一%の方が亡くなる大惨事となった。日本ではコロナ感染は第五波で収まる様子を見せているが、世界では南アフリカで発生したオミクロンというコロナの変異株が猛威を振るい始めた。オミクロン株に対する日本の対策がうまくいくように期待する。ただコロナ感染の第一波から第四波までのデータを踏まえて立てた予防対策が第五波では効果なく、多くの感染者を出したことは次の対策

宝相華会 (同窓会)

会報 No. 85

発行者 瀬川 雅 数
編集者 藤原 正義
発行所 奈良県立奈良高校同窓会
印刷所 共同精版印刷(株)

題字「寶相華」は天平時代の国宝「細字金光明最勝王經」より。(筒井寛秀((中11回))収録)

で解決すべき課題である。第五波の収束はワクチン接種とコロナに対する恐怖心から起こる個人の予防対策の徹底が大きな要因と考えられる。またコロナ治療薬の開発・普及が重症化を防いだ事も見逃せない。

これからも未知の感染症が人類の脅威となることは十分予想される。それに対して、先ずはその感染症を脅威と感じることこそが最も効果的な予防策ではないだろうか。未知の感染症に対する治療薬が開発されるまで、兎に角感染源を避けることだ。

コロナ禍の社会では三密を避ける対策としてテレワークが普及した。教育現場でもインターネットを利用した授業が自宅へ配信された。小学校から大学まで単位を取得するための授業がリモートで行わ

れているのを見て改めて対面授業の大切さと教育の意味を考えさせられた。

新潟長岡藩は偉人を多く輩出した国である。中でも、元海軍大将の山本五十六や幕末の長岡藩の家老河合継之助は有名である。山本は連合艦隊の司令長官として真珠湾攻撃を指揮した。河合継之助は幕末の長岡藩財政を立て直し、戊辰戦争では中立の立場を貫くも、最後は旧幕府軍として新政府と戦い敗れた。幕末を生きた河合を主人公にした長編小説が司馬遼太郎の「峠」である。そして、河合と同じ

幕末を生きた長岡藩士に小林虎三郎がいる。小林は戊辰戦争で敗れた長岡藩の再興のために教育が重要であることを訴え「国漢学校」の設立に尽力した。小林虎三郎を題材として山本有三が書いた戯曲「米百俵」は、元首相小泉純一郎が所信表明演説で準用されて世に知れ渡る。戯曲では小林虎三郎が長岡藩の三根山藩から送られた米百俵を藩士に分配せず、それを元手に学校を作るといふ筋の話である。小林虎三郎は教育に關して次のように考える。「夫れ、学のこと、二つ。道

總會予告

令和四年度 宝相華會總會

日 時 令和四年四月十七日(日) 十時開會

場 所 ホテル日航奈良(丁R奈良駅西側)

会 費 五、〇〇〇円(当日受付でいただきます)

(但し、新入会員無料、平成二十八年以降の卒業生三、〇〇〇円)

世 話 係 昭和54年卒

恩師の先生方も来ていただく予定です。お誘い合せの上多数御参加下さい。

※新型コロナウイルスの影響により延期になる場合がございます。

宝相華會事務局

のみ。芸のみ。道は以て体を明らかにし、芸は以て用を達す。相離る可らざるなり」。学問には二つあり、道と芸である。その二つは切り離してはいけない。道は道徳や理念としての教養で、芸は社会に役立つ知識や手段と考えると今でも通用する。道と芸を得るには学校生活を送るのが必要である。一日も早い対面授業での学校生活の充実が待たれる。

さて、四月より奈良高校の学舎は法蓮から平城の地に移転する。今年の卒業生が法蓮校舎を学び舎とする最後の卒業生となる。耐震問題とコロナ禍で厳しい高校生活を強いられた卒業生にとって、高校生活はより感慨深く、苦難の思い出があるだろう。しかし、苦難の中で得た奈良高校の自主創造精神はこれからの生活に必ず役立つはずである。また、コロナ禍を経験した卒業生は命のもろさや健康の大切さを再認識しただろう。卒業後の人生を始められるにあたり、私たち同窓は卒業生が心身ともに健康を保つ

ことに留意し、高校で得た知識を世の中に役立たせられることを祈念します。

最後になりましたが、奈良高校は令和四年四月に校舎を法蓮から平城の地に移転します。そして、奈良高校創立百年を令和五年に迎えます。校舎の移転や創立百年事業には多大の費用が必要となることから、宝相華会会員各位のご

未来へ

学校長 中野善久
(昭55年卒)



弥生の穏やかな日差しとともに、梅の爽やかな香りがこの法蓮にも届けられ、春の息吹を感じる頃となりました。会員の皆様におかれましては、ご健勝で益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。平

支援が必要となります。校舎の移転や創立百年に向けての宝相華会の活動をご理解の上、今まで以上のご協力をお願いいたします。

また、高校の移転や創立百年事業に関するご意見、宝相華会へのご要望には宝相華会のホームページの問い合わせをご利用いただければ幸いです。

素は、母校奈良高校に物心両面にわたり温かいご支援・ご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

本年度になっても新型コロナウイルス感染症が本校教育に大きな影響を与えております。感染防止対策を一層徹底させながら、教育活動を進めていくことに細心の注意と工夫が求められる一年でした。その一方で、こうした状況下

において教育活動を進めていくための手段として、県立高等学校等においてICTを活用したオンライン授業の導入が試行され、生徒の家庭での学習を保障するため登校しない生徒を対象に授業のライブ配信を実施しました。コロナ禍での教育活動を保障していくための方策を模索する中で、新たな教育の可能性を探っていく契機になった一年でもありました。

最近、プラトン・アリストテレスの師弟像をしみじみと眺めることがよくあります。私自身、感じるのは、この師弟像の放つ表情・見え方が季節や私自身の心の有り様によって違うということ。昭和四十八年創立五十周年記念事業として中庭に建造されたこの先賢の像は、今では本校の自由でアカデミックな校風を醸成し、真実と理想を求め学問に励む生徒の精神的象徴となつていくところ。長年の風雪に耐えながらも、こうした様々な表情をもって、生徒に時には学ぶ者の使命感をもつて叱咤激励を行い、時には慰めたり、励ましたりして、これまで本校生徒を育ててくれたという思いを新たにしています。建造当時の荒谷

さて、いよいよ法蓮の地に別れを告げなければならぬ時がやってまいりました。大正十三年に県立奈良中学校として法蓮の地（現在の奈良県奈良総合庁舎付近）に創立され、昭和四十二年の県立旧茶業試験場であったこの地への全日制、定時制、通信制の三つの課程の全面移転を経て、今日まで本校は法蓮の地域に支えていただき発展してまいりました。本校のこれまでの歴史を象徴するように今では敷地内の樹木が立派に成長し、四季折々の花が咲くような季節感溢れる教育環境までになりました。奈良高校が長

忠雄校長先生は、創立五十周年記念式典の式辞の中で、この先哲の像に込めた願いとして以下のように述べておられます。「朝に夕に、正義の庭に相い集う生徒たちがこの学堂の中の一人一人となって、先生と生徒、また生徒同士が、勉学や人生について大らかな心をもって相い語り討論し合つて、ともに正しい真理を求め学問のきびしさ楽しさを分かち合つて切磋琢磨し、あるいは高く迸り出る水の如き、若人の情熱をもって古今のすぐれた文化について、あるいは自分自身について静かに思索をめぐらすなど、高校生としての充実した底力を養ってもらいたいと願ひます。」と。次年度、本校は新天地において新たなステージを迎えることとなりますが、これまでの伝統の継承と、未来への挑戦が調和する学校として更なる前進をしてまいります。こうしたプラトン・アリストテレスの師弟像を始めとする寄贈いただいた一つ一つのものに込められた本校に対する深い思いと強い期待を

重く受け止めていきたいと思ひます。また、この地で幕を閉じられた定時制課程、通信制課程についても、その教育理念と歴史を本校教育のDNAの一つとしてしっかりと引き継いでまいりたいと思ひます。

八月、スーパーサイエンス関連事業「オンライン型SDGs 関係企画提案ミニプロジェクト」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大のため昨年度よりシンガポール研修の代替としてカトリックジュニアカレッジの生徒とオンラインで交流を始めましたが、昨年度の取組を基盤にして、さらに双方向の交流を進め、「気候変動に具体的な対策を」や「安全な水とトイレを世界に」などといったテーマごとに、カトリックジュニアカレッジとの混成グループを形成し、オンライン上で議論を重ね、生徒たちは解決策の企画提案に挑戦しました。また、新たに「グローバル探究プログラム」を九月から二月まで毎月一回実施しました。生徒たちがアメリカ

の大学生からアドバイスを受け、日本や世界の課題について他者との協働を通して探究し、社会に貢献できる商品やサービス等を企画提案するもので、このプログラムを通して、企画提案力の他、他者と協働する力、英語で議論発信する力などの国際社会で生き抜くために必要な力を養い、グローバルリーダーを目指すことを目的としています。

こうした新たなプログラムにおいて、生徒たちが苦勞しながらも一生懸命、英語を通して自分の考えを伝えようとしていく姿に、奈良高校がよりグローバルな視点で、今後、教育の推進を図り、この法蓮から、奈良県から、そして日本から世界に向かって活躍するグローバル人材を輩出していくことに大いに期待するものであります。移転後もこうした世界に向かって発信・発展していく今後の奈良高校にご支援・ご協力を賜うことを重ねてお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

「おはようございます」と明るく元気な子どもたちの声が返ってくる。子どもたちの登校風景である。退職以来、毎朝横断歩道で立哨し地域の子どもたちの登校を見守る。これが私の一日の始まりである。

私は奈良市の南端、天理市との境にある地域に住んでいる。周りは田んぼが一面に広がり、ビニールハウスが立ち並び、静かな農村地帯である。退職後、しばらくゆっくりしようと思ひ、常勤的な仕事にもつかずにいたが、そののんびりもしていられたかった。

田舎にはいろいろな役があり、その役が次から次へと

回ってくる。今も民生委員を始め、いくつかの役を任されている。その中でも最も大変で責任のある「六人衆」という役がある。

村には氏神、八坂神社があり、季節ごとにいろいろな行事を行う。その伝統を守り、行事を継承していくための役が「六人衆」であり、今、私は四年目を迎えている。その神社の行事の中で、最も大きなものとして秋祭りに行う「当家祭」がある。我が村の一大行事である。毎年一〇月の第二日曜日に行う。その「当家祭」を紹介したいと思ひます。

当家祭も始まりがいつ頃か記録は残されていないが、宮

恩師の便り

地域に暮らす

武村 純一
(昭42年卒)

元教諭(昭48〜61年迄在職)
元校長(平18〜21年迄在職)



座に属する家の男児が一〇歳になる年に神様をお迎えする当家となり、当自宅の門口に設けられた御旅所から八坂神社まで御渡り行を行う。
当家祭前日に六人衆が特殊な神饌物を作る。饗という桶の中に、半紙と注連縄で括られた餅、その上にミョウガを挿した五色の御幣を飾る。この饗を六つ作り、御渡り当日、小学生か中学生の女子が担ぐ。神主を先頭に当家児、御幣、神饌物を持つ長い行列が神社まで練り歩く。神社本殿には御神酒、カマス、結び昆布等が供えられており、そ

ここで神主が神事を行い、当家祭の行事が終了する。一連の流れの全ては紹介しきれないが又、機会があれば我が村を訪ねてほしい。
しかし近年の少子化や人手の不足、費用の負担等で村の祭りの継続が難しくなっていることも事実であり、頭の痛いところである。

新たな出会い



奈良高等学校を最後に、公立学校教員を定年退職し、その後、私学に四年間勤務させていただき、令和二年三月末

退職した時、ある人から「これからは自分のため、家族のため、地域のために頑張れ」と言われた。健康であることに感謝し、これからもこの三つを実践していきたい。
終わりに、宝相華会の益々の発展と会員各位のご健勝を祈念し、寄稿とします。

松尾 孝司

(昭49年卒)

元教諭 (昭63〜平8迄在職)
元教頭 (平19〜平21迄在職)
元校長 (平26〜平28迄在職)

で約三十年間の教員生活を終えました。この間、多くの方々にお世話になりましたこと、また、多くの生徒の皆さんとお出会いできましたこと、本当にありがたく思っております。

退職後、半年ほど自宅でごしておりましたが、ご縁が

あって、音楽関係のNPO法人の事務局で仕事をしております。このNPO法人は、「歌の力を信じ、平和のメッセージや感謝の心を奈良から発信する」という目的をもっており、その一環として、県内の杜寺で演奏の収録や歌の奉納なども行っています。昨年

も、檀原神宮、金峯山寺、天河大辨財天社、室生寺、薬師寺などいくつかの杜寺をお訪ねし、宮司様や管長様にお会いしたり、さらに、お寺では仏像のお姿を間近に拝見したりする機会にも恵まれました。

室生三本松の中村地区にある安産寺もその一つです。このお寺のご本尊である地藏菩薩立像は、平安時代初期に作られた像高が約一八〇cm、榎材の一木造で、国の重要文化財に指定されています。優しさが滲み出ているとても美しいお地藏さまです。また、地藏菩薩立像としては珍しく、沓を履いておられます。

この地藏菩薩さま、もともとは、中村地区を流れている宇陀川の上流に位置する室生寺におられたとのこと。地区

に伝わる話では、宇陀川が増水したとき、この仏さまが流れ着き、村の人たちが、集落まで運び、お堂を建てたのが安産寺の前身となったとのこと、台風シーズンの「九月九日」にやって来られたことから、毎月九日をご縁日として、開扉されています。

一方、室生寺のホームページにも、安産寺の地藏菩薩立像が、もとは室生寺金堂の釈迦如来立像の脇侍であったと考えられると記載されています。具体的には、室生寺の寶物殿に安置されている地藏菩薩立像―この仏像も平安時代初期の作とされている見事なお地藏さまです―の光背のサイズが像に比べて大きく、両者は一致せず、この光背を安産寺の地藏菩薩立像に合わせると違和感なく一致することが、その理由の一つとして挙げられています。室生寺でこの地藏菩薩さまを拝見しましたが、その光背は安産寺の地藏菩薩立像のものであったということが実感されました。

中村地区に流れ着いたのが、あるいは移動したのがい

つ頃かははつきりしません

が、それ以来、中村地区の人たちは、このお地藏さまを「子安地藏」と呼び、子授け、安産のお地藏さまとして篤く信仰され、大切に守ってこられました。昭和の一期、貴重な文化財であるとして、奈良国立博物館に預けられていたこともあったようですが、地区の人たちが返して欲しいと陳情し、そのために、お金を出し合って収蔵庫を建造し、昭和五十三年にお地藏さまを安産寺に再びお迎えすることができたそうです。

勤務するNPO法人の合唱団の方々と共に、歌の奉納をさせていたただくために安産寺を訪れたのは、昨年の七月二十四日のこと。暑い盛りでしたが、安産寺は小高いところにあつて時折、涼しい風が吹き抜け、そこから望まれる宇陀川の清流と緑の田園は、かつてどこかで見たような懐かしい日本の風景を彷彿させるものでした。その中で、子安地藏さまが村の人々を守って下さっている、何とあがたいことか、そういう感

慨に浸りました。

安産寺でのお地藏さまとの出合いの他、たとえば、金峯山寺では、秘仏である金剛蔵王大権現三尊を前に、「何もかもお見通し」という厳しいお姿に恐れながらも祈りを捧げたこと、薬師寺では、平山郁夫画伯により奉納された、七場面十三枚、全長四十九m

東京オリンピックおおきに.. ワールドキャストの3年間の準備から教えられたこと



森 本 和 滋
(昭40年卒)

二〇〇一年三月「ジュネーブからこんにちは」のタイトルでWHO本部の医薬品政策部課長時代に寶相華に寄稿させて頂いた(会報No.44)。

の大壁画である「大唐西域壁画」を執事の方にご説明いただきながら拝観し、玄奘三蔵の、経典を手に入れるまでは帰らないという「不東」の決意のもとでの求法の旅に感嘆したことなど、新たな仕事をさせていたただく中で、これまで経験したことのない出会いのあった一年でした。

そして二〇〇三年三月、最初のコロナウイルスパンデミックSARSに遭遇した。グローバルアラートの草案作成に貢献して闘い死んだハノイ事務局のイタリア人医師・カルロ・ウルバニに感謝して、三月二九日本部で、共に黙禱の時を持った。彼の献身的な使命感は、我が国の高校英語

の教科書にもなっている。

今回は、「東京オリンピックおおきに」のタイトルで寄稿させて頂いた。一九六四年一〇月高校三年生の時、アベの甲州街道をはだして快走をラジオで聞いて感動した。その感動は、東海学生駅伝で花の三区での激走、阪大刀根山キャンパスでのマラソン大会優勝、そして五〇歳直前の一九九六年一二月大学仲間四人と第二四回ホノルルマラソン完走へと導いてくれた。

二〇一八年九月東京オリンピックワールドキャスト案内が目に留まり、トライアスロンのボランティアを望んで応募、ステップ一から六の応募書類に、英語で、応募動機を、国際貢献の感動をもう一度との思いで書いた。応募者は、二〇万四六〇〇人余に達したという。

ループで話し合いタワー作成、個人面接等を受けた。七月三〇日には、お台場でトライアスロン事前説明会が開催され、英語での実地訓練も受けた。一月一六日には、国立オリンピック記念青少年センターで共通研修が開催され、舞台でのピクトグラムデモンストラーションコンテストにも参加した。この場所は、昭和四八年四月国家公務員(上級甲)入省者の新人研修が行われた思い出の地、不思議な縁を感じた。

二〇二〇年一月には、スイスEF社のEラーニング英語研修の提供を受けることになり、レベル六(初級三)からスタート。二月には、アクレデーションカード用写真の提出があり(写真、全ては順調であった。ところが、新型コロナウイルス感染症が、横浜港停泊のダイヤモンドプリンセス号での集団感染の中、三月二四日オリンピックは延期と決定された。その結果、英語研修は、翌年一月末迄継続できることになり、お陰で、レベル一五(上級三)ま

で修了することが出来た。

二〇二一年五月二十四日、ユニフォームとアクレディティーションカードを神谷町駅近くの事務所で受領した。六月八日には、日本財団ボランティアサポートセンターから、『Yell for one プロジェクト』の案内があり、二百四カ国の国歌を歌う計画に手を挙げた。応募者は千人を超え、以後一カ月のウェブ研修があり、東京混声合唱団の歌に合わせて各自が動画録音し、事務局にドロップし、この動画が編集され、七月二〇日公開された。世界地図のアジア、日本で、「君が代」が流れてくる。五名の方は女性で手話の方もいて、男性は私のみであった。英国人の旧友からは、'ナイスモリ！'とエー



風八号も接近し二日後のトライアスロンの開催も危うくなり、以後は辞退することを決心した。

その後は、小学三年生の孫と

ルが届いた。六月二六日〜七月四日まで、お台場の三会場で、観客のメディカル担当対面研修を受講した。片道二時間の電車、ユニフォーム着用義務に従って通った。それなりに冷たい視線を感じて、オリンピックに否定的な方が多いことを肌で実感した。七月六日からコロナ対策の体調管理ノートに体温の記入も開始した。

しかし、開会式の直前無観客と決定された。七月二四日四時半起床、青海アーバンスポーツパークに向かい、三人制バスケット会場に入った(写真)。国際放送しているから、無観客の中でも、「歩いて下さい世界に届いてます」と催促され帰宅したら二万歩弱、虚しさを感じ、台風八号も接近し

テレビ観戦を楽しんだ。パラリンピック自転車競技の杉浦桂子(五〇歳)は、日本自転車史上初となる同一大会二つの金メダルを獲得した。ロードレースで転倒、頭部や右肩を骨折、大けがで、高次脳機能を障害から復帰を目指してリハビリを開始、薬剤師として復帰を果たした。事故から一年後の二〇一七年春「パラリンピックの自転車競技で世界を目指さないか」と誘われた。こんな凄いな頑張り屋の薬剤師がおられるのかと最も感動した場面となった。

寶相華会東京支部は、現在五〇〇人の会員に支部総会の案内が阪本清人支部長から届く。二〇〇八年十一月八日「薬出づる奈良からジュネーブへ、おおきに」の心と健康」のタイトルで総会講演をさせて頂いた。薬師寺から奈良の遠景のスライドを見せながら、心のふるさと奈良に「おおきに！」で纏めた。武村校長を始め質問者が多く出て理解が一層深まり、懇親会でも健康談義が盛んになった。支部ホームページ(H

P)のメンバー活動紹介・学術分野サイトには、私も紹介されている。現在日本薬史学会会長です。平均年齢六八歳の小さな学会ですが、大学、官庁や製薬会社を退職され歴史にロマンを感じて入会される方もおられます。東大や京

大卒の方が多く、残念ながら我が母校卒の会員は、私を含めて二人です。これから薬学を目指そうとされる高校生の方も、是非「寶相華会東京支部」HPにアクセス頂ければ幸いです。(二〇二一年一月吉日)

すみれ色の空から始まった旅

眞田 淳子 (昭48年卒)

高校時代、私の記憶の真ん中にあるのは、すみれ色の空。クラブ活動を終えて帰途につく時、重い鞆とギターを抱え、ふうつと空を見上げて息を吐く。その吐息の先にあるのは、朱い夕焼けが始まる前のすみれ色の空でした。高台にあった校舎と校庭。そこから眼下に広がる奈良のまち。そのまちを包み込むすみれ色の夕暮れの中を、クラブの仲間や先輩たちと歩く駅までの道のり。それはとてもときめいた時間でした。そう

とも、これが青春だ〜と、あの当時(だったかな)流っていた歌の文句そのものでした。ギターを弾けるようになりたい。その一心で入ったギター・マンドリンクラブは、思っていたより厳しいものでした。何度か辞めようと思っただこともありましたが、三年生の夏の定期演奏会(ここで三年生は引退)まで続けたことが、私の高校生活をまばゆいものにしてくれました。自分の奏でる音が、仲間の音と

繋がり、広がり、どこまでも伸びていく。そして、再び自分たちを大きな音の渦の中に包み込んでくれる…。今も耳の奥にその感覚は留まり、思いつ度、私を壮大な音の広がりで包んでくれます。そして、縁あって一年上の先輩と結婚し家庭を持ちました。

その後、小学校の教師となり、自分の夢を叶えました。大家族という環境と子どもの病気がちがつづき、夢は途中で断念しなければならなくなりました。高校時代の友だちは元気で活躍している中で、挫折でした。それでも子どもの発する息吹が好きな自分を閉じ込めることはせずに、何らかの関わりを持つていたいと願って地域での子どもたちに向けたボランティア活動を続けました。ポツポツとしたそんな活動がいつの間にか繋がり、壊れたかみえた夢は形を変えて、私に子どもたちに関わる仕事へのチャンスを与え続けてくれています。心の相談員からスタートし、教育相談員に。そして、中学校の心のカ

ウンセラにと、心と向き合う仕事の中で、学校に通えないしんどさを抱える子どもたちに出会ってききました。

そして今は、自分の住んでいる町の社会福祉協議会で子ども支援の仕事をしていきます。子どもを支援するということは、お母さんを支援することに繋がります。お母さんの幸せは子どもの幸せに繋がります。家族の幸せに繋がります。大人になった子どもたちが、この町で育つて良かったと思ってくれるためにどんな支援が必要なのかと問い続ける毎日です。この年になって子どもに関わる仕事をさせ

てもらっていることに、自分でも驚いています。一度は断念したけれど、心の中ではずっと消さなかつた思いが今に続く自分の道を導いてくれたのだと思います。

高校時代に見た空の色が、すみれ色だったことは、今から思えばあの当時の見えない未来に対する揺れる不安と、ほのかな希望を抱く心の色を映していたのかもしれない。今、私が仕事を終えて見る空の色は茜色。十分に空が朱く染まっていく一瞬の時間を目に焼き付けて帰路につきます。

奈良高校の思い出

胡内 勝彦
(昭51年卒)

このたび宝相華会会報誌の執筆依頼を受け、在学中の思い出、近況や趣味など題材にとあつたので在学中のことを思い返すのですが、何分五十

年近く前のことでもあり、また私は部活に参加もせず帰宅組だったこともあり、あまり印象に残る思い出がありません。高校時代からの友達も少

なく、卒業以降は奈良高校とはほとんど無縁でした。しかし、還暦を迎えた年の平成三十年度の宝相華会総会は、我々昭和五十一年卒の学年が幹事を務めることになり、急に奈良高校が近い存在になりました。この時、卒業以来会っていなかったクラスメートや高校時代でも話したことのない同級生が集まり、みんなで総会を作り上げたことは、非常に良い経験を作らせていただいたと思えます。これをきっかけに、次の年も森崎先生にご出席いただき、学年全体の同窓会を開催し、一二〇名もの同級生が集まりました。また、昭和五十一年卒同級生のLINEグループが出来、今も六十四名が登録しており、トークが日常的に飛び交っています。国内各所はもちろん海外からも、様々な情報や感想が寄せられています。各人の趣味の話やイベント情報、奈良高校出身の方の活躍情報や最近では、オリンピックのスタッフに参加した情報、新型コロナの海外の状況などホットな情

報が寄せられ重宝しています。またゴルフメンバーのLINEグループも出来、二十名程度が登録、定期的にゴルフコンペが開催されています。学年同窓会は毎年開催する予定でしたが、残念ながら、このコロナの影響で出来ず、順延されたままになっています。早くコロナが収束し、大勢で同窓会が開催出来る日が来ることを願っています。

さて、奈良高校が今年四月に移転すると聞いて、私たちが学んだ校舎が無くなると思うと大変寂しく思います。宝相華会総会の準備で卒業後、初めて奈良高校を訪れた時のことを思い出されます。一部、卒業後に建てられた建屋はあるものの、私たちが学んだ校舎は、当時とほとんど変わっておらず、大変懐かしい気持ちになりました。正面の校門から急な階段を上がり、校舎入口の下駄箱でスリッパに履き替え、アテネの学堂の像を見、教室の配置もそのままでした。食堂も体育館もプール、グラウンド、テニス

コートも当時のまま、まるで高校時代にタイムスリップしたような感覚になりました。当時と異なっているところといえ、正面玄関前の樹木が大きくなっていること、また各教室にエアコンが入っているところでしょう。

総会で奈良高校の現状を紹介するための写真を撮る目的で訪問しましたが、懐かしさでたくさん写真を撮りまくりました。高校が移転する今となつては、これらの写真が大変貴重であります。今の奈良高校を目に焼き付けられたことは良かったと思います。

在学時代はあまりいい思い出はありませんでしたが、六十歳を過ぎて、再び奈良高校に関わり、このような良い思い出作りができるとは思っていませんでした。高校の大先輩の方々や高校時代の仲間とお付き合いができることになり、奈良高校を卒業して本当に良かったと、今になってつくづく思う今日この頃です。なお、総会の準備で撮った奈良高校の写真を以下に掲載させていただきます。



体育館入口



下駄箱



エアコンの付いた校舎



アテネの学堂像



食堂



本館玄関前

同窓生ゴルフコンペへ

小林 俊彦

(昭54年卒)

私たちの学年は、昨年(二〇二一年)四月の宝相華会総会の幹事を担当させていただく学年でした。残念ながら昨年の総会は新型コロナウイルス感染症の拡大で中止になりましたが、瀬川会長や一学年下の皆さんと相談させていただいて、今年の総会の幹事をスライドでさせていただきましたことになりました。今年の総会が無事開催されました際には、色々不手際があるかもしれませんが、色々手際があるかもしませんが、皆さんの皆様にご参加いただいで、二年ぶりの総会を盛大に開催できたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

ところで、私たちの学年の同窓生たちは、幸いなことに多くの同窓生が今でも仲良く連絡を取り合っていて、Facebookでつながったり、山登りの好きな人たち

が集まってあちらこちらの山に行ったりしているようです。時には北アルプスなどの山にも登っているようです。すっかりメタボな私から見ていると、同じ年とは思えない体力にいつも感心しております。

山登りとは別に、私たちの学年は毎年お正月に奈良で新年会、そして夏のお盆の時期にはゴルフコンペと同窓会を開催しています。ゴルフコンペはもう十年以上開催しており、第一回の開催の際には、私も本当に久しぶりに会う人たちばかりで、お互いのゴルフの腕前も全く知らないでの参加でしたので、かなり緊張しながら参加させてもらいました。しかしそこは同窓生同士ですので、スタートホールから昔の高校時代に戻ったように思い出話に花を咲かせな



がら、ワイワイガヤガヤと楽しくラウンドさせてもらいました。すっかり同窓生とのゴルフにはまってしまい、最近ゴルフに行くのは、同窓生たちとがほとんどになってしまっています。最初は一参加者として参加させていただいておりましたが、毎回参加していますのでいつの間にか幹事の一人になってしまいました

た。参加してくれている同窓生の中には、シングルハンディで真剣にゴルフに取り組んでいる人から、私のようにひたすら楽しさだけを求めて、毎回百叩きのゴルフにもめげないメンバーまでが参加しています。最近は高校時代に大変お世話になった武村純一先生や吉田信也先生にも参加いただき、奈良高校の一年後輩の皆さんにもたくさん参加いただいで、毎年楽しくラウンドさせてもらっています。毎年続いていたゴルフコンペですが、さすがに一昨年（二〇二〇年）は新型コロナウイルスの影響で中止しましたが、昨年はお盆に開催できましたが、さすがに関東在住の同窓生はほとんど参加できませんでした。

二〇二二年は私たちの学年が幹事として宝相華会総会を開催予定です。日本では今のところ新型コロナウイルス感染症は落ち着いていますが、世界ではオミクロン型の流行などまだまだ安心できない状況です。どうかこのまま収束

の方向に向かい、同窓会ゴルフコンペも含めて今年は大盛況に開催できることを祈っています。また私たちの学年のゴルフコンペですが、恩師の先

笑みつつ絶えず進まん

生方や他の学年の方でも参加ご希望の方がいらつしやいましたら、お気軽にお声がけいただければと思います。

竹本 和代

(昭54年卒)

大学の恩師に一九九二年冬、子の誕生を知らせる便りを書いた。「子供をわたくししすることなく、育てることが大切だともいいます。」のメッセージとともに詩（アメリカの古い言い伝え）が添えられて届いた。

If a child lives with encouragement, he learns confidence.

（はげましを受けて育った子は、自信を持ちます。）
If a child lives with a praise, he learns to appreciate.

（褒められる中で育った子は、いつも感謝することを知ります。）

その詩の中のこれらの言葉が心に響き、勇気が湧いてきた。男女雇用機会均等法や共同参画社会基本法の施行、女性管理職登用が推進される中で、家族の協力を得て仕事と子育てをしてきた。

地域医療に携わる管理職になり、自分ひとりで出来る仕事の限界を感じ、学びの場を求めた。この行動は、新しい仲間と巡り合えるきっかけとなり、心を開いて正直な言葉を発してくれる同窓生達と過ごす機会を増やした。

二〇二一年春、定年退職を無事に迎え、子は社会人となり研究の道を選択した。恩師

は、「後期高齢者の仲間入りをしてしまった。」と照れ笑い。今夏、憧れの大雪渓を十二本爪のアイゼンをつけて登った。山小屋に泊まり白馬三山の登頂を達成した。

虹の輪のブロッケン現象や親子連れの雷鳥に遭遇した白馬岳（二、九三二m）。道路脇の白や黄色の高山植物が風にゆれ優しく出迎えてくれた。

ひたすら歩いた杓子岳（二、八二二m）と白馬鍾ヶ岳（二、九〇三m）。砂れき地帯には、ピンクの花を咲かせたコマクサ（駒草）の群生。その可愛らしさから疲れを吹き飛ばす元気をもらった。目の上が赤く飛び出した雷鳥が、ハイマツの繁みからひよっこり現れた。その姿は、とても凛々しかった。

同窓会山岳部登山歴は八年になる。好きな讚美歌の一節「笑みつつ絶えず進まん」とおり、笑顔でやりたいことを次々と進めて行きたい。次の計画は、雪化粧の北アルプス白馬の山々を眺めて、スキーでの滑走だ。

こう在りたい ―俺の敵はだいたい俺です―

美 淋 光 哉

(平29年卒)

正直な話、私が奈高生だった時は、宝相華をそれ程読んではいませんでした。なので、まさか執筆する側に回るとは思ってはいませんでした。が、これを読んでくれてる人がいたら遠くで喜びます。

さて、冒頭副題の言葉、どこかで聞いたことがある人もいるのではないだろうか。有名なサッカー選手のベッカムさんや「神は死んだ」で有名な哲学者のニーチェさんと同じようなことを言っているのですが、こちらは、『宇宙兄弟』という漫画での言葉です。主人公は宇宙飛行士候補生であり、休みの日に教官と酒場で話している時の一幕でした。教官に、「あなたの敵は誰ですか？」と問われた際の答えです。

俺の敵はだいたい俺です。自分の「宇宙へ行きたい」って夢を散々邪魔して、足を引っ張り続けたのは結局俺でした。他に敵はいません！

あの人さえいなければ…、あの人たちはもっとうすべきだ…、もっとあんな組織だったら…、と他人や環境への不満を口にすることもあるでしょう。しかし彼は、目的に対する障壁となったのは自分自身だったということを主張しています。大学一年生の時にこの言葉を目にした以来、私の大好きな言葉となりました。

そんな私は、二〇二一年九月十六日から十月八日まで教育実習生として、数年ぶりに

奈良高校へ帰ってきました。

そして、来年度からは中央アフリカ地域の配属として、海外で教育に携わりながら働きます。きつと現地は、日本より、物資や環境的には恵まれていないかもしれませんが、慣れない環境の中、英語圏やフランス語圏が入り混る中央アフリカでは、コミュニケーションコストも高く、ストレスも溜まることでしょう。しかし、そういう時にこそ環境を嘆くのではなく、「自分の敵は自分」の言葉を思い出して、自らに克つことのできる人で在りたいのです。

皆さんに「こうなりたい！」という夢がありますか。幼い頃は、「野球選手！」など、すぐに口にしてた記憶はあるのですが、現在の私には「絶対これになつてやる！」と言った明確な夢やビジョンはありません。人生道半ば、まだまだ模索中な新人未熟者です。しかし、学生生活を通して「こう在りたい」が見つけられました。「こう在りたい」ではなく、「こう在りたい」という私自身のアイ

デンティティです。「優しい人で在りたい」「些細なことでも人に感謝できる人で在りたい」など、人によっては多岐にわたるのではないのでしょうか。そして、それは今すぐ始めることができます。「こうなりたい」では、そのゴールのためにすべきことを逆算して行動した結果、最終的に実るものではあるため、将来や未来に重きをおいたものではない。「こう在りたい」は理想を掲げつつも、そう思った瞬間から「こう在る」ことが可能なことです。私の事例でいうと、例えば「一生物学続ける人で在りたい」と考えているので、大学で勉強していること以外にも資格や語学の勉強する、といったところでしょうか。

また、「こう在りたい」は「こうなりたい」というゴールの過程にも成り得ます。例えば私は「将来、大切なパートナーと幸せな家庭を築きたい」と考えているので、あくまでも一例ですが、「礼儀・マナーがある」、「料理ができる」、「清潔感がある」、「言葉

と行動で相手に感謝を示す」ような人で在りたいのです。そして、「こう在りたい」自分を見つけたら私は人生で自分自身に絶対的な自信を持ち、それができている自分に満足できるようになります。

「こうなりたい」、「こう在りたい」、人生に於いてどちらも重要なものではないでしょうか。奈高生の皆さんはこれから本格的に自らの将来と向き合おうと思います。自分は何がしたいのか。何になりたいのか。夥しい数の自省を、学生生活ですることでしょう。その際、是非「こう在りたい」という皆さんのアイデンティティも模索してみてください。そしてそれはその瞬間から「そう在る」ことができます。皆さんも、己が「こう在りたい」自分に向かって信じる道を突き進んでください。

以上、私の信条を一方的に書き記しましたが、ここまで読んでくださった皆さん、本当にありがとうございます。また、機会をくださった

担当の皆様方にも心より御礼申し上げます。なんだか、偉そうで凡庸な自己啓発的な話にはなってしまうましたが、自分としてはこう在りたいので、誰が何を言おうと気にし

ません。「自分の敵は自分」なのですから。

¹小山宙哉『宇宙兄弟(1)』講談社、二〇一〇年。

奈良高校での教育実習と思い出

高橋 智佳

(平29年卒)

休校による一度の延期を経て教育実習が始まった。長袖シャツか半袖シャツかを迷う季節に差し掛かっていた。私たちが青春を過ごした教室たちは、もう誰にも使われない。少し寂しくなった。当時よく、鹿がやってきていた校庭には、校舎が所狭しと並び、何だか母校ではないような気持ちにもなった。生徒ではない存在で奈良高校と向き合う日々が始まった。

入学当初、あまりにも魅力的な人たちとの出会いにプライドがスタボロになった記憶がある。それまで勉強や部

活、得意だと思っていたことは大抵周りもできる。何とも驚きのスタートだった。「自分には何ができるといえるのだろうか」と問い続けあがいた三年間だった。今、同級生たちと話すとき誰かが口を揃えて同じようなことを考えていたと言う。早い段階で他者と比べることの無意味さを知り、お互いを高め合うことのできる場所であったのだと改めて感じる。そんな風土は今も変わらないなと感じた。それぞれがそれぞれの夢を持ち認め合っているような様子であった。そこに、教える立場

で臨むのであるから緊張しないはずがない。周りの先生方に助言を頂きながら準備を進め、他の教育実習生に助けてもらいながら、授業実践を行う。生徒の皆さんは、たどたどしい進行にも反応を示してくれる。考えていた以上に、多くの人に支えられて一つの授業、時間が成立するのだと実感した。授業実践を進めると、伝わったか否かが分かる瞬間があった。「あつ。全然伝わっていない。」と思うと不安からマシンガントークのように説明を加えてしまう。それでは、時間がいくらあっても足りない。一つ、気が付けるようになる。次はこれに注意をしようという課題がいくらかでも出てくる。教えることは本当に本当に大変で終わりがなく、面白いなと思つた。実習の終わりには、先生方に授業を見ていただく機会がある。高校一年・二年次、クラス担任をしていただいていたお二人の先生に授業を見ていただくのは、何だか不思議な感覚であった。教えていた

見ていただき、アドバイスを頂く。その時だけは、高校時代の私に戻った気がした。先生は覚えていらっしゃるか分からないが、「あなたは教員に向いている、いつか一緒に働きたい」と仰っていたのだと今でも記憶に残っている。いつかのそんな日に、少しでも近づけたような気がして嬉しかった。私が担当としてお世話になったクラスは、私が当時属していたクラスとはまた色の異なる、素直でバイタリテイ溢れる素敵な学級だった。二週間という短い間にたくさんのお話もし、教えてくれた。コロナ禍で変化を強いられる学校生活の中で、存分にできることをやり切り、楽しもうとする姿には日々、奮い立たされた。勉強・部活のこと、恋愛のこと、将来についてたくさん意見を交わす中で、私自身も学ばせてもらうことがあった。大学生として過ごす中で、忘れかけていた勢い、純粹さ、目標や夢の素晴らしさについて思い出させてくれた。当時、形振り構わ

ず失敗し続けた私自身の日々を思い出した。言葉にできないほどの感動や悔しさを沢山経験した。奈良高校の日々に「単調」という言葉は似つかわしくないと思う。自分自身が変わっていくことが感じられる日々だからこそ、苦しく、楽しい。変わっていくのは、現実や環境でも情報でもなく、自分自身であることを体感しながら過ごすことが自然に出来ていたなと振り返る。

学校現場は、想像していた以上にコロナによる影響を受けていた。全員で登校すること、涙が出るほど笑いあうこと、行事を全力で楽しむことがスタンダードではなくなつた中で、学校生活を紡いでいっておられる。最後に、お世話になったF9の生徒の皆さん、なんで自分らだけやねんとやるせなくなる、プレッシャーや周りとの差、関係を楽しめなくなる、そんな時にも、先生方や大分と年の離れた方につけてみると良いのではないかと思います。

当時の私に言ってやりたいこととです。いつかまた、お互いに成長してお会いできる日を楽しみに頑張りたいと思います。ありがとうございます。また、未曾有の状況下に

東京支部だより

宝相華会の充実に向けて



西谷 譲

(昭43年卒)

現在、宝相華会東京支部の副支部長をさせて頂いております。奈良高校卒業以来、すっかり縁遠くなり四〇年近くご無沙汰していました。そんな私が何故副支部長をする事になったのかお話しする前に、遠く五〇余年前の高校時代に遡ってみたいと思います。私たちの学年は一九六四年の四

ありながら実習生として受け入れてくださった先生方に感謝の意を表します。本当にありがとうございます。教員として奈良高校に赴任する日を目指し精進いたします。

月に入学しました。戦後のベビーブームという事もあり一クラス五〇人強で一二クラスという多くの同学年がありました。毎年クラス替えがありました。私は一年から三年までずっと一二組という唯一の人間です。思い返せば中学校でも三年間最後のクラスでしたから、合わせて六年間最後のクラスという事になります。私が自慢できるのはそれぐらいで、何故か学業に関しては殆ど思い出として残っていないのです。ただ、運動が

大好きで、体育祭や球技大会では張り切っていました。また、高校二年生の時の青丹祭で当時流行っていたPPMを真似して、私がギター、上田信行さんがバンジューを弾き、野口富美子さんの三人で「我が祖国」を歌ったのは良き思い出です。

私は高校の卒業式には出ていません。三月一日が卒業式だったと思いますが、その日は大学受験のために奈良にはいませんでした。そのことが奈良高校の卒業生であるという意識が薄い要因かもしれません。

大学は東京で薬学部だった事もあり大学卒業後は製薬会社に就職しました。社会人としてのスタートは長野県でしたが、その後大阪、広島、大阪、東京と転勤生活が続いて今に至りました。大阪時代は奈良に住みましたが、次の広島は息子が高校受験を控えていたため単身赴任をしました。

青丹祭ではエレキギターを弾きBOØWYの真似をしていました。親子は似るものではないでしょうか。

広島から再び大阪に戻りましたが、一年後に会社が合併する事になりました。合併に伴う全国の支店・営業所の統合のためのタスクチームに任命され、本社が東京になった事から大学卒業以来二四年ぶりに東京(埼玉県蕨市居住)で暮らす事になりました。

その住所が平成一五年版宝相華会名簿に掲載されていた事から、毎年東京支部から総会の案内をいただいていた。ただ、仕事の忙しさと同窓会に余り興味がなかったの、返事もせずに無視してしまいました。そんな私も六〇歳が近くなり定年を意識しました頃から、昔を懐かしむようになってきました。

二〇〇九年に二年一二組のクラス会の案内が来て、関東からは私一人だけですが参加しました。何十年振りかの再会にも関わらず、すぐに昔に戻るのができ同窓会の良さを知りました。その事もあり東

京の支部総会は年齢幅が広いという一抹の不安の中、思い切って出席しました。出席してみると、そんな不安も吹き飛び阪本清人・史代夫妻をはじめ同学年の方がいたため、楽しいひと時となりました。そして、支部総会で息子がチェロ・コンサートをさせて頂いたこともあり、より一層多くの方と触れ合う事が出来ました。

それでも、ずっと普通の会員のつもりでいましたが、二〇一五年に阪本夫妻がブラジルに行くことになり、後任の年度理事を引き受け、いつのまにか事務局に入っているかのような状況になりました。数年後、阪本夫妻がブラジルから戻ってきたのでお役御免となるかと思いきや、そうは問屋が卸さないとそのまま理事でいましたが、阿部洋己支部長と坂口尚史副支部長が勇退される事が決まり、後任の支部長として理事からはずれていた阪本清人氏に白羽の矢が立ちました。同時に副支部長を引き受ける事になったのですが、副支部長を二人



体制にしよとうという事になり、昭和五二年卒の谷口律子氏も副支部長になりました。現在、コロナ禍の影響で二年続けて支部総会を開催できずにいます。三年続けてというのは避けたいので、オミクロン株の急速な感染拡大が少しでも早く収束する事を祈るばかりです。

東京支部総会は徐々に若い人も増え、平成の卒業生も少

しずつ参加するようになりました。自主・創造の校風で育った方々ばかりなので、よい企画を考えながら宝相華会東京支部の充実を図っていきたくと考えています。今年の一月には皆様の参加をお待ちしています。

私自身の近況でいえば、社会人のスタートをきり、十余人住んだ信州が大好きで、リングの木の一ナーになってリンゴの収穫、近くのワイナリーのブドウ摘みの手伝い、時々山に行ったりしています。また、息子が出演するコンサートに行ったりして人生を楽しんでいます。

**寶相華会東京支部
総会（予定）のご案内**

二〇二〇年度および二〇二一年度と連続して、宝相華会東京支部総会は中止となりましたが、二〇二二年度は、開催を予定しています。

日時場所は、二〇二二年一月一二日（土）、千代田区霞が関の法曹会館です。詳細は追って連絡させていただきます。

大阪支部だより

大阪支部 前支部長 橋本 武一
(昭39年卒)



コロナ禍のなかで、大阪支部でも昨年、一昨年と総会・懇親会を中止いたしました。

今年も七月十五日に予定していますが、開催には不確実な点が多く、支部長退任のご報告を「宝相華」でお伝えすることを許してください。

昨年の十二月十六日の大阪支部常任幹事会で、大阪支部支部長を退任することに、常任幹事さんの承認がとれ後任に副支部長で、前幹事長の谷井浩（昭和四十六年卒）さんが後を引き継いでいただけることになりました。幹事長時代から支部長時代と九年間勤めさせていただきましたが、これも大阪支部の役員、幹事

さんに支えていただいたおかげと、改めて感謝を申し上げます。

振り返ってみますと、大阪支部には、三十歳の時、関西に転職したのがきっかけで、同期の故田中弘毅君が誘ってくれて入会しました。毎年の総会・懇親会で同期の友人と再会できるのをいつも楽しみにしていました。私たちの学年はいつも出席者が多かったので学年幹事だった故田中弘毅君は鼻高々でした。平成二十四年に幹事長の後任を探しておられた当時の久保勇支部長に幹事長として手伝ってほしいと依頼され、大変な役目と感じながらもお受けすることにしました。平成二十七年に、久保支部長が引かれるのに当たって後任の支部長推薦委員会を立ち上げ何人かの先輩にもご相談しましたが時

が満ちて、自身が支部長を受けることになりました。

総会・懇親会の様子を振り返りますと、平成二十四年には、青々会の皆様が制作されたお水取りのドキュメント映像をお借りして映写させていただきました。青々中学からの出身者も多く来ておられ好評を博しました。平成二十五年には当時なら高校の総務部長で、第五十一次南極地域観測隊に派遣経験のあった森田好博先生に「南極の自然の紹介と体験」ではなしていただき、あまり見たこともない南極の自然の写真をたくさん見せていただきました。又、南極から持ち帰った氷塊をいただき皆さんでウイスキーのオンザロックを楽しませていただきました。平成三十年、三十一年と「懐かしき恩師」としての企画をしまして、平成三十一年には、飛鳥に住まれ日本画壇でご活躍の鶴頭尾精先生、平成三十年には、体育の先生で、永田先生に「スマートエージング」と題して健康で長生きの秘訣を伝授していただきました。

こうして皆様のご協力と、ご支援でなんとか勤め上げることができました。新しい役員さんのもと、大阪支部をよりしくお願いいたします。最後に特に同期の長瀬剛司君

(会計監査)、副支部長として伴走していただいた清水睦子さん、同期のコーラス部の皆様に深く感謝しています。有り難うございました。

ともしび会だより

追悼の辞 笠置侃一先生をしのぶ

松井隆雄

(定昭38年卒)



令和三年六月二十九日逝去されました笠置侃一先生と最後にお目にかかったのは令和元年九月一日に「ともしび会」会長大西純一氏と老人ホーム・サンライズにお見舞いに行った時でした。八月中旬自宅で転倒され腰部打撲等の受傷で車いすの療養生活を

しておられましたがお会いした時は今までと変わらない柔和な口調と笑顔でお話して頂きました。笠置先生を慕って集まった奈良高等学校定時制出身の先輩後輩の集いであります。毎年の出席頂き楽しい有意義なお話をして頂いておりました。平成三十年十一月十一日開かれました第四十回迦楼羅会に出席頂き御講話頂いたのが最後となりました。笠置先生は私にとって奈良

高等学校定時制の恩師であると共に人生の大恩人であります。今日の私があるのは笠置先生のお陰であります。私の歩んだ人生の道は笠置先生のお教えと重なり合った道であります。それは、昭和三十四年四月入学した日の笠置先生の言葉が今日の私・弁護士松井隆雄を造って下さいました。その言葉とは「世間の人は『昼間働き夜に学校で勉強するのは偉いですね。』と言って同情してくれませんが、私はそうは思いません。学校へ来て勉強するからには昼間の生徒に負けないように勉強して下さい。君たちの多くの先輩は一生懸命勉強して本校を卒業して立派な社会人になっておられます。」と厳しいことを優しい口調で語り掛けられました。私はこの時から世間の同情に甘えてはいけないと堅く心に決め人生を送って来ました。

先生にお世話になった数多くのことで忘れられない出来事は、卒業旅行の費用がなく欠席のつもりをしていました。が「これでみんなと楽しんで来い」と言って旅行代金五〇〇〇円を出して下さいました。返せとは一度も言われませんでした。月々少しずつのお金をこっそり職員室へ届けた記憶は忘れられません。困った人間を助ける思いやりの心の大事さを教えられました。先生から将来進むべき道についてご指導ご援助を頂いた二つの事柄があります。一つは、在学中、昼は中学卒業と同時に勤めました東大阪市若江岩田にありました電気工場で働いていました。が、学校に法律事務所の募集が来たのを先生が私に勧めて下さいました。その事務所に、本校定時制昭和三十三年卒業の福井厚士氏が勤めておられました。同氏は、大阪市立大学法学部二部在学中に司法試験に合格して、卒業後裁判官に任官して東京地方裁判所所長を歴任された方であります。私は、喜んで御受けけて同事務所に勤めることになりました。そして在学四年生になり大学進学について先生の出身大学である京都大学へ

の進学を勧められました。学費は奨学金と足らずは先生の懐からとのうれしい話ではありましたが当時の私の家庭環境から進学より毎日の生活費が心配でお断わりして、福井先輩の後を追って大阪市役所に勤務しながら大阪市立大学法学部二部を選択しました。このようにして、爾来私が、法曹を目指して頑張れたのも笠置先生に物心両面の礎を築くご指導ご支援を頂いたお陰であると深謝しております。笠置先生本当に長い間、どうもありがとうございました。安らかにお休みください。合掌

ともしび会

「第十回単独総会」開催
令和四年七月三日(日)
ホテルリガール春日野
一一時より総会
一二時より懇親会
会費 八、〇〇〇円

後日ご案内差し上げますのでお誘い合わせて多数のご参加お待ちしております。

奈良高 校舎の思い出

保田 松美

(定昭46年卒)



やっと、コロナ禍の終息が見えてきた昨今ですね。

この二年間の内に、私にとって偉大な恩師である笠置侃一先生が、お亡くなりになりました。

「かるら会」(笠置先生を中心に約三十名が、年に一度集まり歓談する会)を通じて、先生と親しく身近にお話をする機会を得ました。その先生の温かさやお人柄の良さは、何十年たっても変わらず、本当に楽しいひと時でした。

九十四歳でお亡くなりになられました。コロナ禍で見舞いにも、お葬式にも伺えず、本当に残念でした。ま

た、この二年間「かるら会」も中止となり、その間お三人の方が亡くなりました。令和四年その「かるら会」が最後の開催となるそうです。最後といえば奈良高校の校舎も、令和四年三月をもって移転されます。私は、この校舎の出来た翌年に入学しました。まだ、グラウンドも整備されておらず、食堂が出来たての時でした。この食堂には、

ずいぶんお世話になりました。昼間働き夜学ぶ私たちは、授業の始まる前、また休憩中にこの食堂で、パンと牛乳、きつねやたぬきのめん類を頂き、元気を出したものです。また、グラウンドでは運動会で千五百メートルを走って、ものすごくしんどかった思い出があります。

いよいよ、懐かしい校舎も閉鎖されるのかと思うと本当

寂しいです。そして、定時制も閉課程になってもう十年、色々な事が変化してゆき、時の流れを感じます。急激に変化してゆく世の中を見ておきますと、この地球の大変化を感じずにおられません。いつの世も常に、こうして時代は変わっていくというものの、昨今の地球の有様は、いよいよテクノロジーが極まり、そのテクノロジに振り回されている気がします。地球の温暖化や諸々の現象も、ひしひしと身近なものになりつつあります。

私の経営する居酒屋も、魚の高騰など諸に影響を受けて苦しい中、皆様の温かいご支援を心の支えとして頑張っております。

皆様どうか情報に振り回されず、楽しい日々をお過ごしくださいませ。きっとこの後の世界は、愛と光に満ちた素晴らしい世界になると、私は思っています。

つどい会だより

通信制で学んだ初心の思い出

石田 恒夫

(通昭36年卒)



す。

大正十三年四月に奈良県立奈良中学校として創立され戦後奈良高等学校と改称されています。その後時代の変遷を経て昭和二十八年九月には奈良高等学校通信教育部が開設され昭和三十七年通信制課程と改称されました。そして平成二十年三月には五十四年間の通信制課程は閉課程となって今日に至っております。千七百名程の卒業生の方々にも各地域社会で活躍されていると思えます。明年には私達の学んだ母校は、平城山に移転され令和五年には創立百周年記念行事も計画されています。

自主創造と建学の精神、文武両道に励みし良き環境に恵まれた学び舎で学んだ通信制課程では困難や苦学にも耐え初期の卒業の目的を果し無事テープを切れた事は忘れ得ぬ大きな喜びの成果であり心に刻む思い出の一つとなっています。通信制では自主学習が主だった勉強であり仕事帰りクラスメート宅に数人がお邪魔して復習を度々重ね合ったり、テスト前には図書室へ足を運んだり我が家では子供に教えられたりして、自信のないテストながら無事パスした事等も改めて思い返す四四年間の一時でもありました。又その反面楽しかった事もいくつか体験しました。通信制の桃谷高校へ、ソフトボー

ルの練習試合に先生の引率で電車に乗り、ユニホーム姿で

グローブやバットを持参し試合では二回戦で敗退となりながら親善試合の様な和気藹々の楽しい有意義な時間を過ごした事も又なつかしい思い出の一つです。一方大学の通信教

育部では秋季体育大会が行われ未熟ながら野球チームのメンバーに入れて頂き準優勝しメダルを首にかけて頂きチーム全員でグラウンドで写真に収まっているという一時の楽しくて貴重な体験を残す事が出来ました。通信制卒業の楽しい旅行先で十数人が共にカラオケなどで一夜を過ごした事も又なつかしい二度と味わえない思い出となっています。

これは全て、通信制で学んだ事が原点であり感謝していただきます。教室では机の子供さんを座らせて、先生の話など懸命に耳を傾けてメモされているお母さんの生徒さんもありその姿に深く励まされる思いでありました。詩歌の一節にある「一寸の光陰軽んずべからず」の様には寸暇を惜しんで勉学に励む心得は、時代や

年齢差を問わず適用される諺かと思えます。

コロナ禍は終息に向いつつつある様ですが世界的にはマスクは手放せない不安な社会環境かと思えます。注目される明るい記事もありました。一例で真鍋淑郎さん（九十歳）の温室効果ガスが気候変動に与える研究でノーベル物理学賞に輝かれ又野球界では米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平選手が投打の二刀流の実力を高く評価され打で四十六本塁打、投で九勝二敗を挙げ更に投票三十人の記者が全員一位の投票で満票得票でMVPにも輝き人間的好感もプラス

され歴史に名を刻む活躍をしました。将棋界では藤井聡太さんが十九歳三ヶ月の最年少で四冠（竜王、王位、棋聖、叡王）に輝かれ藤井一強時代の幕開けとも評価されており、たゆまぬ努力と研鑽とも報じられており、何事も精神一到であり棋盤に集中力を積み重ねた結果であり将棋ファンにとっても明るい希望と勇気の励みになっており多くの共感と注目を得たのではない

かとも思えます。これらの成果は学びや研究ひたむきな努力の結果の証例の一つでもあるかと思えます。自分の力を最大限に発揮出来る条件の一つは当然の事ながら、常に自己の健康管理が不可欠であり、栄養のバランス、睡眠、適度な運動等の維持も要求される一つの条件であろうと思

います。過日大病の為長時間の手術を余儀なくされ二ヶ月余りの入院体験をしました。普段健康を過信して病気など余り気にかけていませんでしたが、無事退院し健康の幸せ大切さを痛感しました。

通信制閉課程後は新鮮な卒業生の声などを見聞する機会

は皆無になり、又卒業生同志で結成されたつどい会の散策や見学、歴史の探訪などの行事は体力や加齢などもあり残念ながら参加者が希薄になりつつある事は否定できません。私達のつどい会は校長先生や宝相華会の諸先輩の方々

の温かい御指導や御支援のもと継続されています。そして五月には、コロナ禍の終息を条件に

つどい会総会がリガリー春日野で開催される事も予定されています。お互いに切磋琢磨し合った仲間同志であります。一人でも多くの方がつどい会で一堂に会し親交旧交を温め合い有意義で心にも残る思い出の総会になる事を切望したいと思っております。

つどい会の皆様へ

コロナ禍の中、つどい会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今、又新たに「オミクロン株」のニュースが流れています。もし、終息に向かえば「つどい会総会」を、五月に開催させていただきますと

考えています。

つどい会事務局一同

つどい会事務局一同

つどい会総会

つどい会事務局一同

つどい会事務局一同

つどい会事務局一同

つどい会事務局一同

つどい会事務局一同

つどい会事務局一同

第36回奈良高校OB美術展

会期
2022年3月23日【水】
↓
3月27日【日】

時間
10:00 -- 17:30
■初日13:00 --
最終日--15:30まで

場所
奈良市美術館
第1展示室
(ミ・ナール5階)

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、
入場制限や開催の中止を行う場合があります。
発熱や咳の症状がある方は入場をご遠慮ください。
ご来場の際は、必ずマスクをご着用ください。
感染拡大予防にご理解とご協力をお願いいたします。
URL <http://naraobart.web.fc2.com/>

つどい会の皆様へ

【奈良高校通信制同窓会】
つどい会総会

開催日 二〇二二年
五月十五日十二時より

会場 リガリー春日野
内容 検討中です。前回の案を中心に。

ご案内は、二〇二二年四月頃の予定。
ワクチン接種も、徐々に進んできました。又、三回目も開始されるようですが、総会が、無事開催できることを祈っています。又、宝相華会総会も、無事に開催できますよう、願っています。

つどい会事務局一同

つどい会事務局一同

つどい会事務局一同

卒業生

北村 昭 齋 さん

(昭31年卒)

漆芸の人間国宝で文化財修理の第一人者

北村 昭 齋 さん (1938年～)



古典の修復と創作の両面から漆芸を追う北村昭齋さん (撮影・山下暢之)

創作、修復の両面追究

さもあつて、准々手掛け... 現代作家は少ないという。...

漆芸向き合ったのは27歳の時... 父・大通さんの助手として...



まえつつ、現代の繊細表現を... 確立した点が注目され、北村...

北村昭齋さんの「秋津文螺細箱」...

「過去の人々のデザインや伝統技法は示唆に富む。創作と修復といふ二つの仕事を切り離して考えることはできない」という北村さんはまた、...

(令三・十・十九付 奈良新聞転載)

卒業生

常任理事 吉岡 章 さん

(昭38年卒)

県立医科大学の法人化に尽力した前理事長・学長

吉岡 章さん (1944年)



「ゆきなしい改革」を進めた吉岡章さん

県立医科大学が、民間発根の運営で「自立」経営にする法人となつて、14年...

自立経営へ「改革」推進

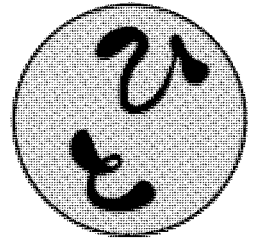
国と県が求めた方針は継続的な「人件費削減」だが、「大学の独立性を保持」...



県立医科大学付属病院内で新型コロナウイルス感染症対策の様子

一方、県内で陽性者が出なかつたせいから、一次の感染...

(令三・十・十九付 奈良新聞転載)



文化勲章

(令和三年度)

絹谷 幸二氏



洋画家

県民栄誉賞受章

選 奨

選 挙

県議会議員奈良地

区補欠選挙当選

(令3・10・31)

疋田 進一氏

(平7年卒)

保護司・国会議員秘書



県教育委員会選奨

中野 善久 校長

(昭55年卒)

学校経営に尽力



叙 勲

(令和三年秋)

瑞宝中綬章

千田 稔氏

(昭36年卒)

国際日本文化研究セン

ター名誉教授



瑞宝小綬章

瀬川 雅数氏

(昭43年卒)

宝相華会会長

元 済生会奈良病院長



学 校 行 事



球技大会



文化祭



修学旅行



体育大会



シンガポール研修



文化祭中庭

編 集 後 記

新たな新型コロナが現れ、そろそろ収まりそうだったが、また、新たな局面を迎えている現在、皆様にはお変わりございませんか。

第八五回会報誌宝相華も執筆者の皆さんのおかげで、何とか形になったと思います。

今年三月で法蓮にある校舎も新しい場所に移ります。

新卒業生の人にとっては、あわただしいなかにも、感慨深い年となったことでしょう。

同窓会総会も四月に予定しています。今年はなんとか、開催できることを祈っています。

二〇二四年一月には創立百周年を迎える行事も控えています。

現在、学校、PTA、同窓会の役員がその準備を始めだしています。

これから、いろいろお願いしたいことがありますがその節は、よろしくご協力お願いいたします。

新卒業生の皆さんのこれからの活躍、ご多幸を心から祈っています。

(藤原正義)

部活名など	大会・コンクール名	部 門	賞	クラス	名 前	備 考	
ESS	第7回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会2021		出場	J9 J3 J7	堀 友世偉 花房美沙希 山田 樹		
	2021年度関西公立高校即興型英語ディベート交流大会	チーム賞	優勝	J9 J3 J7	堀 友世偉(奈良A) 花房美沙希(奈良A) 山田 樹(奈良A)		
		チーム賞	3位	F9 J4 J7	楠田梨々香(奈良B) 山下 葵(奈良B) 平川 碧(奈良B)		
		個人賞	エキシビジョンディベータ賞		J9 F9	堀 友世偉(奈良A) 楠田梨々香(奈良B)	
			ベストディベータ賞		J9 J3 J4 F9	堀 友世偉(奈良A) 花房美沙希(奈良A) 山下 葵(奈良B) 楠田梨々香(奈良B)	
			POI賞		J7	山田 樹(奈良A)	
	奈良県高等学校英語教育研究会主催第1回英語ディベート大会		優良賞	J3 J7 J7 J9	花房美沙希 山田 樹 平川 碧 堀 友世偉		
			優秀賞	J7 J9 F2 F4 F6 F6	平川 碧 堀 友世偉 森岡 美月 山崎 瑚都 小池 陽乃 日樫みちる		
	小倉百人一首かるた部	第45回全国高等学校総合文化祭	小倉百人一首かるた部門	3位(奈良県代表チームとして参加)	S1 F6	高田 育実 森 唯菜	
		第41回近畿高等学校総合文化祭奈良県予選会	小倉百人一首かるた部門	個人戦3位	F6	森 唯菜	11月20～21日 近江勸学館(滋賀県)
第41回近畿高等学校総合文化祭		小倉百人一首かるた部門	3位(奈良県代表チームとして参加)	F6	森 唯菜		
吹奏楽部	第63回 奈良県吹奏楽コンクール	高等学校の部 A	金賞				
	第49回奈良県アンサンブルコンテスト	高等学校の部 打楽器五重奏	金賞	J7 F6 F7 F7 F7	細田 夢花 畑 佑弥 今谷 果歩 菅原帆乃香 鈴木 奈那		
音楽科	令和3年度 奈良県高等学校 独奏・独唱コンクール	ピアノB部門	銀賞	F8	谷崎 美恵		
		声楽部門	銀賞	J1 J3	中村沙奈海 吉田 有希		
邦楽部	第41回近畿高等学校総合文化祭 滋賀大会	日本音楽部門	奨励賞	F1 F2 F3 J3 J4 J6 J9	鈴木 真弥 春藤 春香 高橋 風歌 花房美沙希 高岸 万記 野一色花歩 丸谷 咲葵		
数学研究会	第32回日本数学オリンピック本戦受験資格を得る			F7	岡田 俊祐		
水泳競技部	第28回奈良県高等学校新人水泳競技大会	男子50m自由形	1位(大会新)	J6	中堂 陽仁	近畿新人大会出場	
		男子50m背泳ぎ	6位	J1	小澤 一翔		
		男子100m背泳ぎ	5位	J7	川口 颯太		
			6位	F3	蓮川 優太		
		男子100m平泳ぎ	4位	F4	高井 蒼生		
			5位	J1	南谷 聡汰		
		男子4×100mドレーリレー	7位	J7 F4 J6 J6	川口 颯太 高井 蒼生 中堂 陽仁 鳥羽 俊祐		
	第5回近畿高等学校新人水泳競技大会	男子50m自由形	4位	J6	中堂 陽仁		

部活名など	大会・コンクール名	部 門	賞	クラス	名 前	備 考
弓道部	第40回全国近畿高校弓道選抜大会兼第29回近畿高校弓道選抜大会県予選	女子個人	2位	J 1	高田 彩帆	近畿大会・全国大会に出場
剣道部	令和3年度奈良県高等学校剣道新人大会	女子団体	3位	J 3 J 8 F 1 F 2 F 4 F 6	西尾 日奈 田村萌々花 相原 遙夏 福田 智子 池田 玲乙 鍵本あきの	
	令和3年度奈良県高等学校剣道新人大会第18回奈良県高等学校剣道優勝大会兼第31回全国高等学校剣道選抜大会奈良県予選兼第15回近畿高等学校剣道選抜大会奈良県予選	女子団体	3位	J 3 J 8 F 1 F 2 F 4 F 6	西尾 日奈 田村萌々花 相原 遙夏 福田 智子 池田 玲乙 鍵本あきの	第15回近畿高等学校剣道選抜大会 出場権獲得
陸上競技部	第54回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会奈良県予選会	1年女子三段跳	2位	F 6	山崎 由季	9月17日～19日 たけびしスタジアム・京都
		1年女子やり投	2位	F 5	田口菜奈子	
		1年女子400m	3位	F 1	堀 早希	
		1年女子走幅跳	3位	F 6	山崎 由季	
		1年女子砲丸投	3位	F 5	田口菜奈子	
			4位	F 9	井上 桃花	
		1年女子円盤投	4位	F 9	井上 桃花	
		1年女子200m	5位	F 5	福井 那菜	
		1年女子100m	7位	F 5	福井 那菜	
		1年女子3000m	8位	F 8	大脇 千央	
		2年女子800m	4位	J 1	松田菜々花	
		2年女子100m H	4位	J 4	東口 七彩	
		2年女子200m	6位	J 3	胎中 友奈	
		2年女子400m	6位	J 4	東口 七彩	
		2年女子3000m	6位	J 5	藤川 輝	
		2年女子1500m	8位	J 1	松田菜々花	
		1・2年女子共通 4×100m R	4位	J 3 J 2 F 1 F 5	胎中 友奈 竹嶋 紗来 堀 早希 福井 那菜	9月17日～19日 たけびしスタジアム・京都
		1・2年女子共通 4×400m R	4位	J 3 F 1 F 1 J 4	胎中 友奈 村山 七海 堀 早希 東口 七彩	
		1年男子100m	2位	F 1	富田 雅晴	
		1年男子走高跳	4位	F 5	松島 陽太	
		1年男子三段跳	5位	F 2	高野 友翔	
		1年男子5000m	6位	F 1	岩本 侑士	
			8位	F 2	岩田明輝哉	
		1年男子3000m SC	6位	F 2	岩田明輝哉	
		2年男子走高跳	4位	J 2	村田 瑞稀	
		2年男子3000m SC	5位	J 4	田村賢太郎	
		2年男子100m	6位	J 4	河井 陽	
2年男子800m	8位	J 8	山口 悠太			
1・2年男子共通 4×400m R	8位	J 2	村田 瑞稀			
		J 8	山口 悠太			
		F 1 J 4	富田 雅晴 河井 陽			
女子第37回奈良県高等学校駅伝競走大会	総合の部	5位	F 1 F 3 J 1 F 8 F 7	村山 七海 中村 彩音 松田菜々花 大脇 千央 石井 優菜	11月28日 兵庫：南あわじ市	

部活名など	大会・コンクール名	部 門	賞	クラス	名 前	備 考	
テニス部	第34回 奈良市高校選手権 テニス大会	女子ダブルスの 部	3位	J 2 J 7	蔵田あゆみ 岩崎 梓紗		
			3位	J 5 J 6	北 優美 山下 夏未		
	令和3年度近畿高校テニス 選手権奈良県予選	女子ダブルスの 部	6位	J 5 J 6	北 優美 山下 夏未		
	第9回奈良県公立高等学校 テニス大会	女子団体	優勝				第9回近畿公立高校大会 出場
		男子団体	3位				
	第10回近畿公立高等学校テ ニス大会	女子個人	出場	J 2	船内 紗与		
				J 3	田辺 舞		
J 5				北 優美			
	男子個人	出場	F 8	日下 魁人			
ソフトテニス部	奈良県高等学校ソフトテニ ス学年別大会	男子2年の部	5位	J 4 J 6 J 8 J 9	井上 敦生 竹本 權 植田 竣也 泉 那宙		
			3位	J 8 J 9	植田 竣也 泉 那宙		
	令和3年度奈良県高等学校 北部地区ソフトテニス大会	男子個人戦	5位	J 4 J 6	井上 敦生 竹本 權		
			優勝	J 4 J 6 J 8 J 8 J 9 F 1	井上 敦生 竹本 權 稲川 陸 植田 竣也 泉 那宙 森本 遼平		
	令和3年度 第11回リブ・ YONEX 研修大会	男子ダブルス団 体戦					
	令和3年度奈良県高等学校 ソフトテニス新人大会	男子団体	出場(ベスト16)	S 4	森 厚樹		
				S 8	吉本 明		
S 5				安岡 誉起			
S 4				山田 将太			
J 6				竹本 權			
J 4	井上 敦生						
J 8	植田 竣也						
J 8	稲川 陸						
令和3年度近畿高等学校ソ フトテニス選手権大会	男子団体	3位	J 4 J 6 J 8 J 8 J 9 J 5 F 1 F 5	井上 敦生 竹本 權 稲川 陸 植田 竣也 泉 那宙 米川 幸伸 森本 遼平 平沼 佑基			
ハンドボール部	第45回全国高等学校ハンド ボール選抜大会奈良県予選 兼奈良県高等学校ハンド ボール新人大会	男子の部	4位				
		女子の部	3位				
バドミントン部	第68回近畿高等学校バドミ ントン選手権大会奈良県予 選	女子ダブルス	ベスト16	J 7 J 4	中川 藍 伊澤 里咲	近畿大会出場	
		女子シングルス	ベスト16	J 7	中川 藍		
アーチェリー部	奈良県高等学校アーチェ リー新人大会	女子個人	3位	F 8	坂元 詩子		
登山・クライミン グ部	第26回近畿高等学校スポー ツクライミング大会		出場	J 7 J 8	長瀬 唯楓 ベラス日向		
	第12回全国高等学校選抜ス ポーツクライミング選手権 大会		出場	J 8	ベラス日向		